

# 水中処分母船1号艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 小見明之）は6月5日柏崎港西埠頭岸壁において水中母船1号の艦艇広報を行いました。同船は舞鶴警備隊所属、潜水作業の支援等に従事する船で3年ぶりの寄港となりました。

船内見学が行われる特別公開は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事前公募による当選者のみでしたが、船外の見学にも多数の人が訪れ、「公募は外れてしまったが、岸壁からでもと思い見学に来たので楽しみ。」と海上自衛隊艦艇の人気の高さが伺えました。

天候に恵まれた中、訪れた見学者を地本募集広報ブースと第2普通科連隊展示車両（高機動車、軽装甲機動車）、高田駐屯地音楽クラブの演奏と新潟地本マスコットキャラクター「マモル」が出迎えました。





特別公開は乗員による装備品や船内の丁寧な説明、手旗信号、ラッパ演奏の展示が行われ「あんなに早いのに読み取れてすごい。」などと驚く親子連れの声や拍手が柏崎港に響きました。見学者からは「実際に使用している潜水機材や装備品も見ることができて良かった。また柏崎に来るのを楽しみにしています。」といった声も聞こえ高い広報効果がありました。

新潟地本は今後も海上自衛隊への親しみ、理解を深めていただけるよう、艦艇広報を続けます。

